



北上の子

認め合い 伸ばし合う 心豊かな北上の子
北上小の合い言葉(三つの心) おもう心 むかう心 のびる心

学校運営協議会（臨時）開催（9/1）

学校方針や教育計画に、地域や保護者の方々に関わっていただくことが現在の学校経営です。これを協議、承認していく組織が、地域と保護者の代表者など（計9名）からなる学校運営協議会です。メンバーは地域学校協働本部やPTA本部役員の方々に信頼があります。

今回は9月1日に臨時の会合を開催しました。内容は6年生修学旅行の実施可否についての協議です。学校からの提案「安心して実施できる状況ではないものの『感染リスクを極力下げるための最大限の対策＝飛沫感染と接触感染への対処』を行うことで実施可能」について協議しました。メンバーからは、発熱があるようなときは抗原検査などをきちんと受けることを徹底すべきなどの意見が出されましたが、全員一致で承認をいただきました。無事に実施できるように保護者の皆様の御理解と御協力、よろしくをお願いいたします。

尚、5年生自然教室も箱根の里使用ガイドラインに沿って「感染リスクを極力下げるための最大限の対策」を行い実施をさせていただき予定中です。

教育的にも価値のある宿泊行事をとおして、子どもたちがさらに成長できると思います。

授業参観・学級懇談会・行事説明会（9/14）

5時間目は担任による授業（5年生はスマホ講座）、その後学級懇談会（5年生は自然教室説明会、6年生修学旅行説明会）が行われました。授業参観は、密を避けるために廊下、教室、ベランダ等に分散していただきました。コロナ禍のなか、さらに暑さが厳しいなか、御来校いただきありがとうございました。

やさしい心(校訓)おもう心(重点目標)の体現(9/16)

芙蓉台に在住の御婦人から、お電話をいただきました。その内容は「大量に買い物をし家路を辿っていたところ、通りかかった5年生の男子二人が『大変そうだから、持ってあげる』と、言って、荷物を運んでくれました。とても喜んでます」と、いう内容でした。重い荷物を持っている人を見かけても、声を掛けることは、勇気が必要です。その意味でも、今回の5年生二人の行動は、とても素晴らしいものです。

タブレットのさらなる活用を目指して

現在、授業ではタブレットが活用されています。学校でも家庭でも、子どもが、必要なときに自らの判断で有効活用できるようになることを目指しています。そのために「情報モラル」や「学習に向かう姿勢」をさらに高めていく必要があると考えます。そこで2学期のスタート時、各クラスで「情報モラル」や「学習で積極的な活用を勧めたいアプリ」などについて学ぶ時間をつくっていきます。



令和4年度 全国学力・学習状況調査について(北上小学校)

今年4月に実施された調査の結果から本校児童の学力や学習状況の概要をお知らせいたします。

国語	全国・県よりやや高い。
算数	全国・県よりやや高い。
理科	全国・県よりやや高い。



各教科の特に良いあらわれと改善が必要なあらわれは、次のとおりでした。

国語

《特に良いあらわれ》

- ・漢字を文章の中で正しく使うことができる。
- ・話し言葉と書き言葉の違いを理解することができる。

《改善が必要なあらわれ》

- ・立場や位置を明確にしなが、自分の考えをまとめる力が不十分
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける力が不十分

【今後は…】

- ◎表現の仕方の手本となる文章に触れる機会を増やすために、良書を紹介し読書する機会を増やします。
- ◎課題に対して個人で考えたことを、グループで情報交換し自分の考えを深める活動の機会を、意図的・計画的に増やします。

算数

《特に良いあらわれ》

- ・算数的な知識を身につけられている子供が多い。
- ・ある問いの解法を参考にして、別の問いの解を求めることができる。

《改善が必要なあらわれ》

- ・数量が変わっても、割合は変わらないことに対する理解が不十分。
- ・プログラミングされたものが正しいものかどうか判断する力が不十分。

【今後は…】

- ◎値引きや食料品に含まれる成分の割合など、日常生活の中で触れる算数的な要素について課題に取り上げることで、学習内容の理解が深められるようにします。
- ◎教科だけでなく日常の問題を解決するための過程も、順序立てて考えるように指導することで、物事をしっかり考えてそれを説明できる力を身につけていきます。

理科

《特に良いあらわれ》

- ・問題を解決するための道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。
- ・観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、自分の考えをもつことができる。

《改善が必要なあらわれ》

- ・光の性質や、実験器具の使い方に対する理解が不十分。
- ・実験で得た結果を、問題の視点で分析して解釈し、自分の考えを記述する力が不十分。

【今後は…】

- ◎今まで扱った実験器具や、今後使う実験器具の正しい使い方についてプリント等で繰り返し学ぶことで理解できるようにします。
- ◎実験で得た結果に対し、何が分かったのかを押さえ、小グループで分析・検討をすることで、結果に対して考察する力を身につけていきます。

質問紙調査の結果から、全国や県と比べて、次のようなことが分かりました。

学習状況調査の結果



《特に良いあらわれ》

- ・読書が好きな児童が、全国や県より多い。
- ・コンピューターなどのICT機器を、他の友達と意見交換したり、調べたりするために、ほぼ毎日使用している児童が全国や県より多い。

《改善が必要なあらわれ》

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童が、全国や県よりやや少ない。
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しようとする児童が、全国や県よりやや少ない。